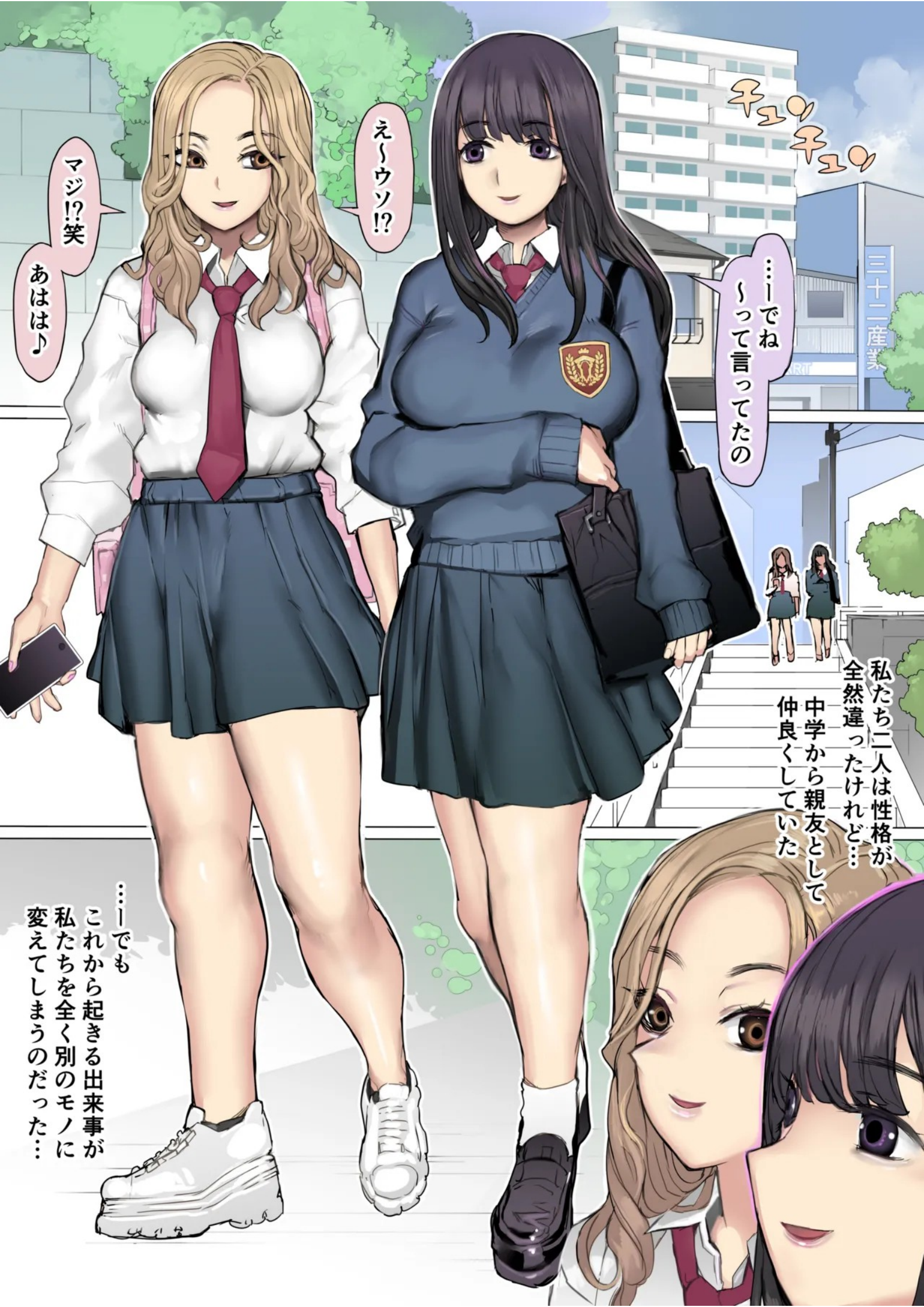
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止
親友同士で争え
親友叩き潰し競争
飼育生活
豚

ご注意

本作品はフィクションです
実在の人物団体事件とは一切関係ありません

作中に登場する行為・行動について
現実世界で模倣、実行することは
犯罪行為にあたる恐れがあります
絶対に真似をしないでください

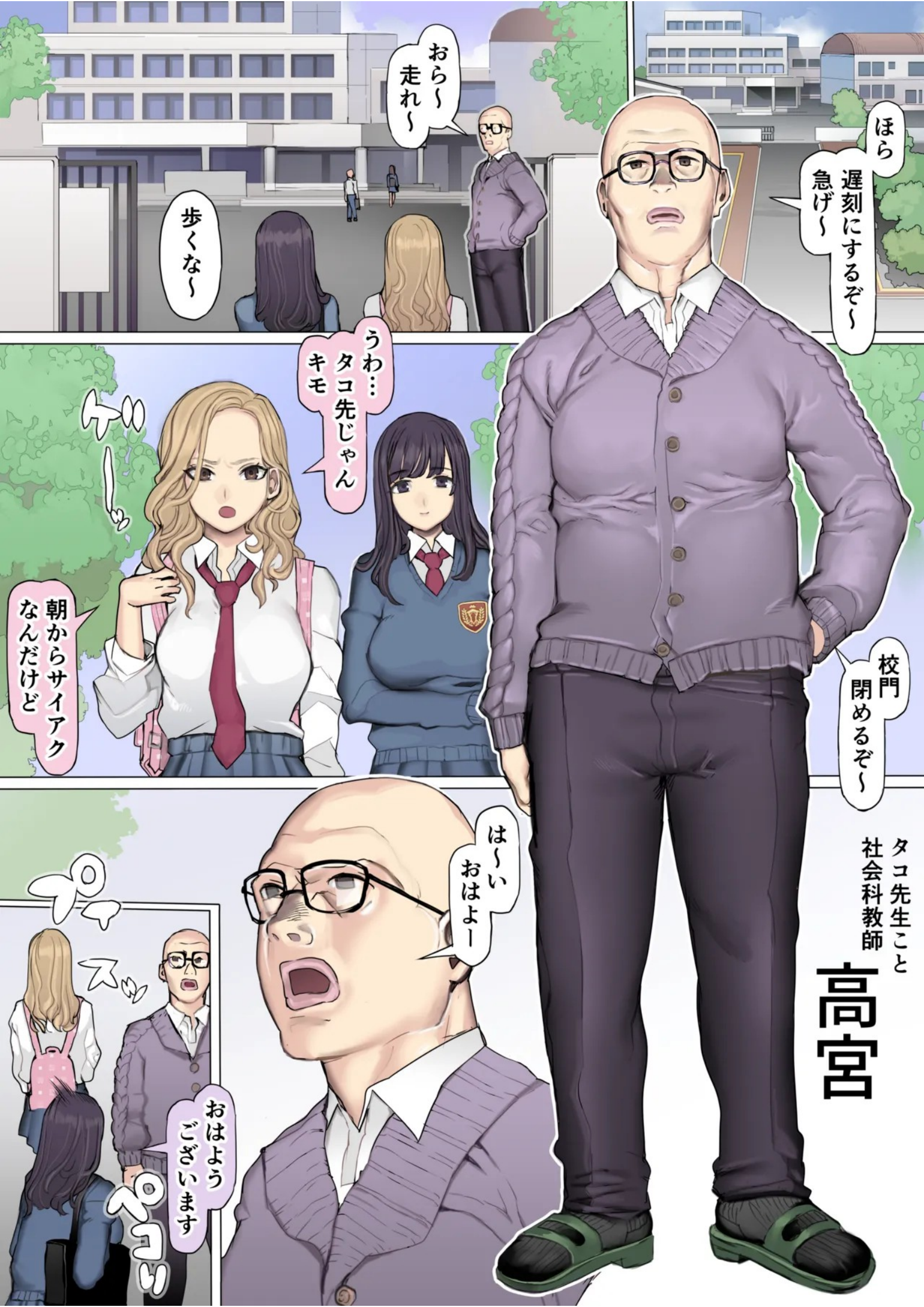
未成年者の閲覧、現実と創作物の違いが
判断できない人の閲覧を禁じます


チュンチュン
…ーでね
～って言ってたの
え～ウソ!?
マジ!?笑
あはは♪
三十二産業
私たち二人は性格が
全然違ったけれど…
中学から親友として
仲良くしていた
…ーでも
これから起きる出来事が
私たちを全く別のモノに
変えてしまうのだった…

そういえば静ー…
アヤトとはどうなってんの？
※アヤト
え!?
別に…なにもないよ…!!
ウソ～？笑

イイ感じなんでしょ～？
え!? 何で？
栞たちが一緒に帰ってるの見たってよ？

すっごい仲良さそうだったって!!
オラ白状せ～い笑
ドン
ちょ…ッやめてよ～笑
あはは♪
ウチらで隠し事無しッしょ笑
うん…


ほら
遅刻にするぞ～
急げ～
おら～
走れ～
歩くな～
校門
閉めるぞ～
うわ…
タコ先じゃん
キモ
ゲ～ッ
朝からサイアク
なんだけど
タコ先生こと
社会科教師
高宮
は～い
おはよー
プィ
スッ
おはよう
ございます
ペコリ

コラ春日原
挨拶くらいちゃんとしろ～
は～い
ざ～す
もう…!! ダメだよ!!
……
チッ…

クソ…春日原ァ
いつもいつも生意気な奴だ
ちょっと可愛いからって調子に乗りやがって…
イライラ

頭はともかく肉体(カラダ)ばっかり発育させてよ
ぷるぷる
きゅるん

朝からイイ匂いさせやがって
ぷるぷる
トゥルン

毎日毎日そのムワッとくる雌臭を嗅がされて頭おかしくなるわ
ムン
ムワァ
マ○コ マ○コ
マ○コ
たまに教師が淫行で捕まるのしかたねえだろ～がよ…なあ

門を閉めながら
ため息が出る

ガラガラガラ

はあ〜

ガシャン

今日もまた一日が
はじまるのか…

はあ…
さてと…

カシャン

教師という仕事に
就いて何年だろう

あ〜…一限目授業か
めんどくせえなぁ…

この学校は正直
クソだ

同僚の教師達も
カスばっかりで
ヤル気も出ん

オレだって最初は
こうじゃなかった

トン

トン

歴史上の偉人達に
憧れて
歴史の教師に
なったんだ

国を変える偉人を
生み出したかった

『人を変えたい』という
熱い理念があった

しかし…現場のリアルを
見続けるうちに

その情熱は枯れ果てた

あのクソガキどもから
偉人なんて生まれん

3 - C

ガララ…
というかー…
ワイ
ワイ
オ～イ
やめろって～笑
オラッ笑
はい
着席～…
サル同然のガキども
色気づいた
しつけのなってない
オス猿と…
同じく
サルの脳ミソ女ども
マジで!?
うける～!!
やる気が出る方が
イカレてるだろ…
くそ…ッ
また…
性器のニオイ!!

頭カラっぽのくせに…
『女のニオイ』
プンプン放ちやがって

もはやコッチが
頭おかしくなるわ
コレ見てお勉強なんて
やる気になるワケねえ

そしてコイツが
猿のリーダー

はぁ〜

マジだる♪

春日原 凛
リン

インフルエンサーだか
知らんがなんかネット?で
人気?らしい?

ハーフだかクォーターだか
知らんがとにかく美人だ
認めるよ…

でも態度はクズ

カラ…
スッ
みんな♪
そろそろ授業受けよ？
お？ さすが静ちゃん♥
え～？ 教科って何だっけ？
しゃ～ね～な笑
あぁあ～♪これコレぇ♪
やっぱり天使だなあ♪
優等生でイイ子
そして可愛い♪
先生はじめてください♪
たぷん
大橋 静（しずか）
この子は最高の生徒
いや…最高の女だ
胸が破壊的にデカい…最高だ
あ…ああ
このコがいるからいやな職場でも出勤できるってもんよな
じゃ…教科書45ページから…
ぱら

この静君と春日原…
中学から一緒らしく
ここに入学してからも
特別に仲が良いようだ

しかし…
くるくる
コイツはともかく

静くんならもっと
いい学校に行けた
ろうに…

まあ…
静くんがいないクラス
想像したらゾッとする
が…

静くんにバカを
移すなよォ〜…

しかしある日…
恐れていたことが
起きてしまった…

ん…？

あれは…
…静くん？

ひと気のない
倉庫裏で
静くんが男(サル)に
呼び出されて

告白？されてる
ところを目撃して
しまったのだ

え!?…告白!?
やば…隠れッ…

あいつは…

相手は…
竹下!?
最悪だ…
竹下 綾人
いわゆるイケメン
猿どものリーダー
ムカつくガキだ…
イラ
オメーみたいな
馬鹿ガキが
静くんに近付いて
んじゃね〜ぞ
静くん!! ボロカスに
断ってやれ!!
振れ!!
君はサルどもとは
違うだろォッ…!?
しかし… 静くんは嬉しそうに
頬を染めて笑って
キュ♥
手をつないで
帰っていった
オレは絶望した
……
どす黒いモノが
胸中で噴出した
うぅ〜
何か心の大事な
部分が弾け飛んだ
ムクムクムク
同時に静くんを
救わねばと
覚悟した

アヤトたち…
一軍オス猿どもには
良くない噂があった

クラスの女子どもが
食い散らかされてる
とか

たまり場でヤバイ
集まりしてるとか

オレが救わなきゃ

このままでは
静くんがサルどもに
染まってしまう…!!

その日…帰ったオレは
とある『計画』を作った

カタ
カタ
カタ

カタ
カタ
カタ

もう…
静くんをオレの
モノにするしかない

誘拐(サラ)って…
オレと一緒に
暮らすんだ

そうすれば
賢い静くんには
わかるハズだ

計画書

本当の幸せが

最高の計画を作るんだ…!!

ここから個室にしたいんですよ

音楽部屋なので防音を入れて

防音材のグレードは…

一番良いので

彼女を迎えるために自宅を愛の巣に改築

深夜に正体を隠して

防犯カメラの位置と角度を確認…!!

彼女を輸送するルートの確認

車だとこの道は無理だな…

緻密な準備が必要だ

生活資材の購入

当日のシナリオ作成

自分のアリバイと疑いを向ける標的

やることは多いがすべて準備した…

じゃあ荷物を倉庫に頼むね

はい

あとは回収地点に静くんを向かわせて…

完璧だ…

ニヤリ

そして…

現在に至る―…

チッ…計算外だわ

なんだこの状況は…

なんでこうなった…

静との愛の巣に春日原…最悪だ

暴れるから大変だったわ

む～～ッ!!

うぅ～～ッ!!

うぐ～～ッ!!

ぐぅう～～ッ!!

みしぃ

ぎしぃ

うるせ～…完璧に防音しといて正解だったわ

…―しかしまさか計画のあの場所に

凛のヤツも来ちまうなんて

見られちまったら

誘拐(サラ)うしかなかったわ

あ〜〜…クソ
まあ…いい…か

このクソガキの
処遇は後で考えよう

どのみちもう
始まってしまったんだ

やれることを
やるしかねえ

大橋 静くん
春日原 凛くん

ようこそ
我が家へ

こんな事になって
しまったのは
全部お前たちが
悪いんだぞ

先生に失望させ
やがって…

とりあえず…

オレもここまで
やっちまったんだ

もう後には引けない
諦めろ

せいぜいここでの
暮らしを楽しめよ

こうなっちまったからにはオレにも覚悟があるぞ
お前らは絶対に帰さないし
というか二度と外にすら出さない
ポン
そのための準備はバッチリだ♪
ここで上手く生きていくことに集中しなさい
ンンッン〜〜ッ!!

なんだぁ？
ン〜ッ
ンァンッ
話の途中だぞ
ン〜ッ!!
ム〜ッ!!
チッ…
うるせえなあ
なんだ？
…ッ
ぷるぷる

クソてめ〜〜ッ!!
さっさとコレ解けよッ!!
クソ!!
キメえんだよォッ!!
頭おかしいんじゃね〜の!? キモッ!!
※聞くに堪えない罵詈雑言の嵐
……

うるせぇえ!!
このクソ猿がッ!!

うッ…
あッ!!
ここではお前なんかに人権なんかね～んだよ
わきまえろ
ううぅ～～～ッ…

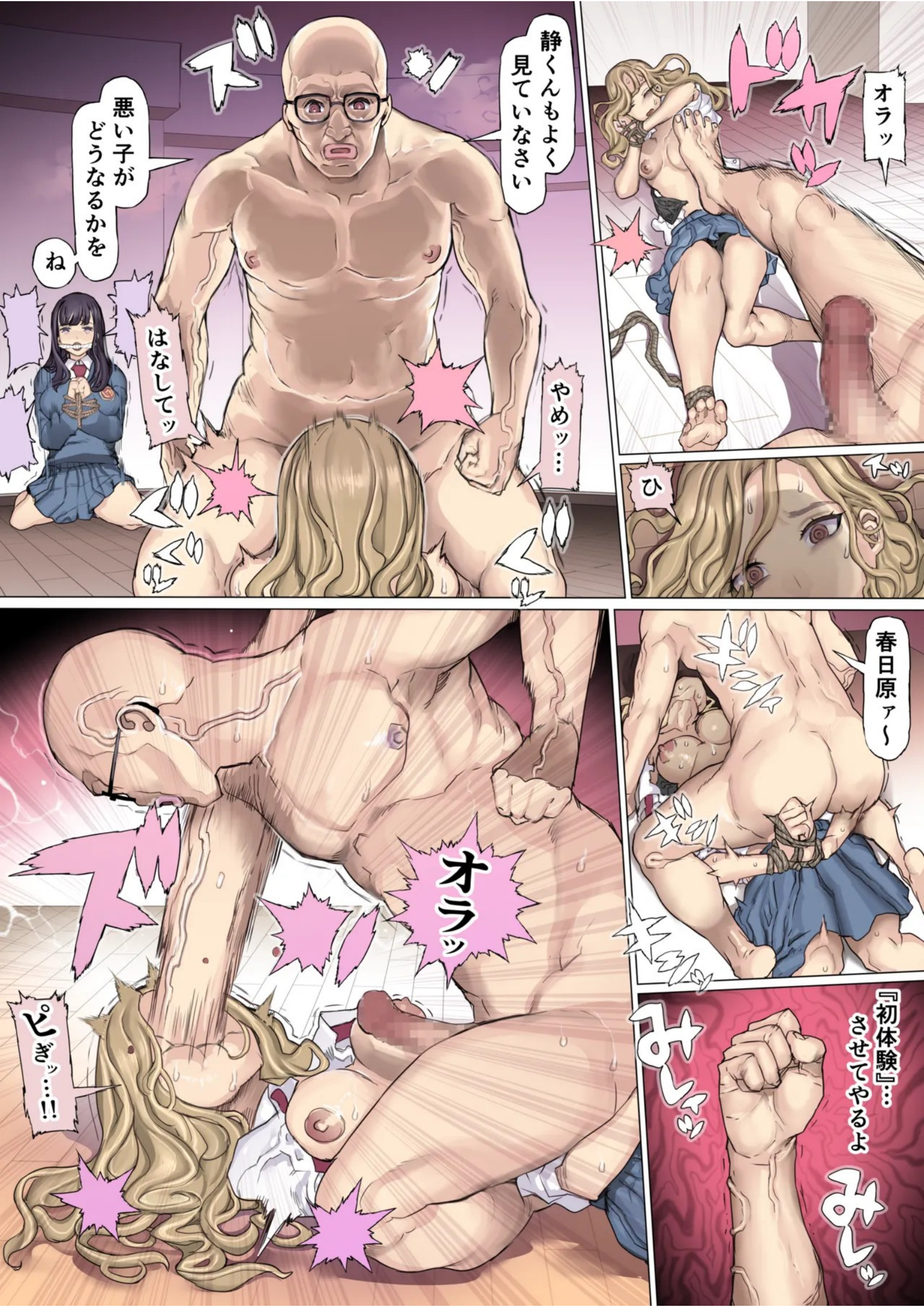
え
うそ
殴っ…

凛ちゃんはイイ子ねぇ
ママの自慢よ♪
オーディション受けさせよう!!
モデルになれるぞ
コレ!♪
え?
私を?

リンちゃんすごいよね～♪
ともだちになって～♪

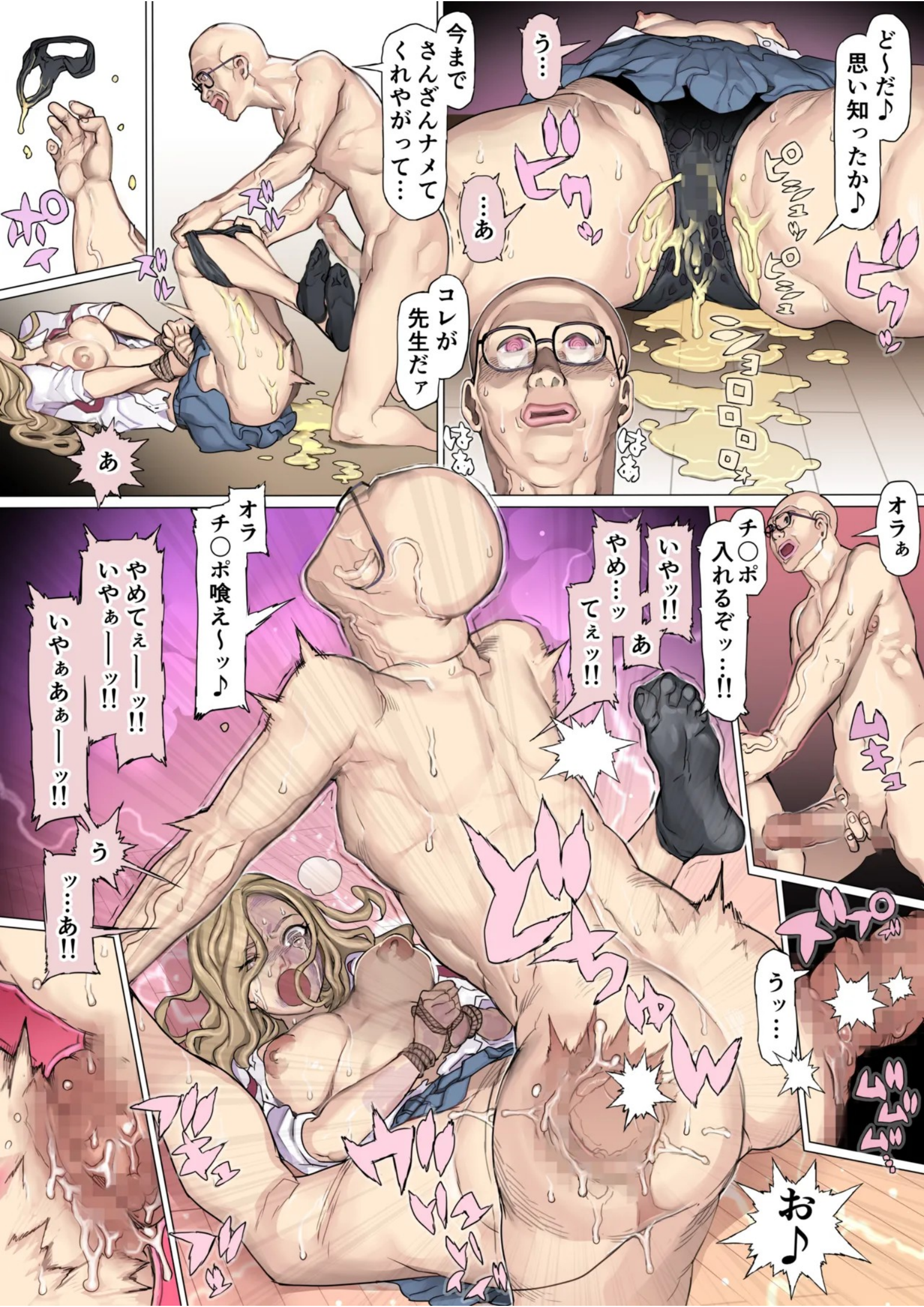
リンちゃんのダンス バズってるよ!! スゴイ!!
私…スゴイ
私みんなと違うんだ
先生 むんンェ ムんえむェッ!! やめてくださいッ
ビクッ
し…静…ッ
静くんン… かばう気か?
オラ歯ァ食いしばれ
私が…ッ!?
この私が…!?
ロッ
やっぱり静くんは いい子だなあ 先生感動したよ
でもダメだよ♪ 学校と違ってココでは 悪い子に罰があるんだ
だから…
どいてろ
ぐイ
トサ
うッ
コ☆☆☆
ひッ

凛〜お前…調子乗ってるよな
オレの怖さしっかり教えてやるからなァ
や…
や…め…
キャ…ッ
オラッ
誰かァ!! 助けてェ!!
叫んでも無駄最高の防音ぞ
そうだ…もう好きにしていいんだ♪
好きにできるんだ
オレが神様なんだ
ひッ
やりたいようにしていいんだ…
春日原ぁ♪ オレの赤ちゃん
欲しいかあ?


オラッ
ドガ
ひ
静くんもよく見ていなさい
悪い子がどうなるかをね
はなしてッ
やめッ…
春日原ァ〜
『初体験』…させてやるよ
みしィ
みしィ
オラッ
ピぎッ…!!

先生娘を叱らないでください!!
いやしかし…お母さん
大人の都合で怖がらせて萎縮させないで
ウチは叱らない主義なの
凛ちゃんは可愛く伸び伸び育ってね♪
ニコ
は～い♪
フン♪あったり前じゃ～ん♪だってもう可愛いし♪
オラ♪オラ♪
ゴ
オラ♪
ドカ
ゴッ
ドスッ
ゴニャ
ビクッ
ビクッ
くやしい
やめ…ッ
やめて
ごめ…さい
イタイ
強い
痛い
怖い
あ
ボロ
痛い
痛い

はあ？
つーか誰もアンタの事先生って思ってないし笑
マジキモ
息くさいんで黙ってくれます？
オラッ!!
おらあッ…!!
オラッ!!
説教してんじゃねーよ!!
キモおじ!!
ぎゃはは♪凛すげー笑
やべ…でッ
許…ッて…
どうだぁ春日原ぁッ♪
うおぉおォ～～ッ♪
気持ちィいィィィィィィィィ～～ッ♪


ど～だ♪ 思い知ったか♪
う…
…あ
今までさんざんナメてくれやがって…
コレが先生だァ
ポイ
あ
オラぁ
チ○ポ入れるぞッ…!!
いやッ!! あ
やめ…ッ てぇッ!!
オラ チ○ポ喰え～ッ♪
やめてぇ――ッ!!
いやぁ――ッ!!
いやぁあぁ――ッ!!
うッ…
うッ…あ!!
お♪

あ
う
オッ…ほォおぉ♪
いいぞォ♪
穴は優等生だな
マ〇コネバネバに濡れてんじゃね〜か
うお
お
お
お
生ハメ最高ゥッ♪
嫌
嘘
やだ
ウソ
気持ちェえぇエ♪
うあ〜〜ッ!!
あ
あ〜〜ッ!!

これから徹底的にしつけしてやるぞ
チ○ポ穴だッ!!
ッあ
…ッ
頭わるいテメーは立派なチ○ポ穴になるんだッ
いいなッ…!!
お♪ 凛じゃん♪
今日ダルくね? 一緒にサボろうぜ♪
アヤトくん…♪
うん♪
アヤトくんッ
アヤトくん…!!
あ~来た キタ
精子きた
お~出るッ デル
うそ や… ダメ…ッ
オラ イクぞ
出るぞッ
やめッ…
オラ出る!!
ダメッ
いくぞ!!

オラッ春日原ッ!!
穴に集中しろッ
先生の精子
受け取れッ…
うッー!!
出るッ…!!
ビュッ
ビュッ
ビュッ
うッ!!
マ○コで飲めッ
春日原ぁッ!!
う
あ
あ
あ
う
あ
ぴゅる
ぴゅる

うふぅ〜ッ♪
たっぷり出たぁ♪
ズルッ
ゴポッ♡
うあぁ〜ッ
ぴゅる
いい授業に…
なった…だろッ♪
あ?
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
大人(オレ)をなめるな
いいな♪
覚えとけ
ヒュ
ズム
ぐしゃ
あ〜ッ…

翌日ー…
おはよう
おはよう…
ございます…
お前らよく寝れたか？
…はい
初日に凛をボコボコにしたのは正解だったわ
ふたりともイイ感じにおとなしくなったな
やっぱ『恐怖』ってのは『教育』に必要不可欠よ
つーか学校でもこうすりゃいいんだよ
お♪そういえばお前たちコレ♪
早速お前らの失踪が地域ニュースになってるぞ
見るか？
全く見当違いな捜査してるみたいだな笑
オレの工作が上手くいったわ

やっぱ
しっかりした準備って
のは裏切らんなあ～笑
こんなんじゃ先生
絶対捕まらんぞ笑
あ～お前ら笑
こりゃダメだ
助けが来るのはもう
諦めた方がいいぞ～笑
さてと
今日も始めるか
今日も丸一日
使えるから
た～っぷり
楽しめるぞォ♪
喜べ～笑
今日はどっちを
指導するかな♪
春日原ァ
今日もお前かな
ひッ…
あれから徹底的に
凛を教育している
ビクッ
も…許…て
殴…ない…で
凛はちと限界か
ビクッ
そろそろ静くんを
いただくか♪
それが目的
だったんだ
そ～だ♪
そういや…静くん
凛を必死にかばって
いたなあ♪
お望み通り
そろそろ静くん
いくかあ～♪

かばったんだから…
当然…覚悟はできてるよなぁ？
ビクッ
ひ…ッ!!
…なんか嫌そうだなぁ
静くんは凛とは違うよなぁ～？
先生のこと好きだろ？
…!!
それともいい顔だけしてお前も同じか？
先生騙してたンか？
あ？
……
返事しろ静ぁ騙してたンか!?
あ!?
そうだろォ？お前は凛と違って『イイ子』だもんな？
いいえッ!!
ビクッ
ビキィ
じゃあほら先生のこと『好き』と思いながら
好きな人にするフェラしてくれ
ねっとりエグいフェラな
……!!
ムワァ
できるよな？
な？
…はい

さあほら♪
はぁ
はぁ
はぁ
ひッ
凛に『イイ子』のやり方教えてやれ♪
ぬっ
やれ
ぬちゃ
う
あ
精一杯やりなさい!!
ッ!!
おまえにはできる!!
ぐ〜〜ッ…
モゴ
ゴゲ
臭いッ
嫌悪感と嘔吐感が襲ってくる
ムワ
口の中に一気に広がるチンポ臭
気持ち悪い…ッ
よ〜し♪
オラ♪
喉奥まで飲み込め
ビクッ
〜〜!!
〜〜〜!!
オッ
ゴッ
オボ
そう…飲み込んで
モッ
オエ
オエ
喉で包んで頭振ってしゃぶるんだ

あ～違うなぁ
それじゃヌルイなあ
!?
オレが大人の
チ○ポしゃぶりッ
教えてやるッ…
いいか
こうだッ
こうッ
頭の
動かし方
こうだッ
コレだっ
…しかし
危なかったな
チ○ポしゃぶり
コレを
アヤトに覚えさせられる
ところだったわ
でもオレが
勝ち取ったぞぉッ
コイツはオレの
チンポしゃぶり
覚えたぞッ♪
オラ覚えたら
自分で動けッ
これも勉強だぞッ♪
ヤル気を
見せなさいッ♪
指でしごいて
口すぼめて!!
吸えッ!!
汚い音
出して吸え!!
頭ピストンして!!
はへ
はへ
はへ
はへ
はへ
はへ
はへ
はへ

いいぞォ♪
全神経をチ○ポと
くちに集中させろ
そのくちは性器だ
マ○コだ
オレのチ○ポを
咥える時は
自我を忘れて
思考を捨てて
性器になるんだ
う〜ん
まだ下手だな
ちょっと
イケねえな
嫌なの全力で
顔に出てるし
あ〜
やっぱこういうのは
ノッて欲しいよな

こんな感じによぉ
せんせ〜♪
せんせ〜
好き♪
好き♪
先生〜♪
静のチ○ポしゃぶり
どうですか♪
ちゃんと好かれて
静に赤ちゃん
作って〜♪
あ〜チ○ポしゃぶり
乳首いじめ好きィ♪
静も快感
むさぼって…
おれのチ○ポで
興奮して
発情するように
教えてやって…♪
※妄想中

静にもっと先生の精子飲ませて♪
先生大好き♪
お
お
ほッ
う
あ～先生好き
好き
好き
先生のキンタマ♪舐めますッ♪
精子元気になって静を妊娠させて♪
静は先生のアナル舐めマゾです
※妄想中
お～ッ…♪
いいぞォ
オレ用変態マゾ静…ッ
想像したらマッハで来るッ…♪
うッ…
あぁ～ッ…出るッ!!
!!
…ッ!!
出るうッ…受け取れッ!!
ッ!!
オレの精子ッ…遺伝子ッ!!
!!

おッ…お
おげッ!!
げぽッ…!!
ぼッ…!!
ケポッ
ペッ
ケポッ
ゴポッ
ゲホッ
ケホッ
はッ…!!
ひッ
イラァ…
し～ず～か～…!!
ギチチ
オイ
あッ
あの…ごめッ
ごめ…ッさいッ!!
ゲボった静を見て一瞬
猛烈な怒りがこみ上げ
てきたが…同時に
やはり彼女の心からの
愛は得られないのだと
痛感してしまった
愛による服従が欲しい
お前ら…オレは
決めたぞ
ふたりとも
よく聞きなさい
オレはあの作戦を試して
やろうと決意した
計画を決めたあの日に
神か悪魔が与えてくれた
妙案を

はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
静くん
凛くん
先生決めました
お前たちには感謝もリスペクトもない
大人に守られ教わっている無知で無力なガキのくせに
昨今の平等主義で勘違いしてしまったんだろうね
歴史を見ても世界は本来不平等なモノ
君たちには特に強く教えてあげなきゃいけないみたいだね
これからは二人のうちどちらか『良いコ』しか人間扱いしません
ひとりだけです
支配者に従う感謝の心尊敬するという態度が大切なことをしっかり学びなさい
一人は人間
一人は豚

ルールを作る私は
ふたりにとって
『神様』です

ふたりで『人間』を
奪いあってください

人間になれた人は
『豚』を見て
学びましょう

人間でいられる
感謝を

私の偉大さを

毎日の終わりに
成績の良い子を
発表します

それじゃ…

今日の成績は―…

まあ
もうわかってると
思うけど…

『人間』は
静くんです♪

……!!

私の言う事をよく聞いて
頑張りました♪

そして春日原ぁ

オマエは『豚』だ♪

ナデ
ナデ

これまでの態度を
反省して
『人間』になれるように
努力しなさい…♪

それじゃ
はじめ―…!!

どうだ？これが…

『人間』と『豚』の差だ

春日原ァ…バケツトイレはもう使ったか笑

『人間』は当然快適に

ソファも寝具も完備

でも『豚』ァオマエは苦痛に耐えてろ

はへ はへ はへ

身も心も豚になるまでいじめ抜くからなあ

カタ カタ

静くんは要るものがあったら何でも言いなさい♪

豚は自分の行いの反省でもしてろ

ふぅ ふぅ

ゴムの拘束衣きついだろ笑
お？
もう何時間同じ姿勢かねぇ
時間経つの遅いだろ笑
どうだ？
あ？
オマエのために通販で買ってやったんだぞ♪

便利だよな～通販感謝しろよ
そんでそのまま考えてろよ
どうすれば『人間』になれるかをよ
時間はたっぷりあるからよぉ
はうぃ…（さむい）
はぅいえ…う（さむいです）
ごぇ…あはぃ（ごめんなさい）
ゅう…ゅう…ひへ…（ゆるして）
豚

うるせえよ『豚』が神様に話しかけてんじゃね～よ
オラッ!!
ドコッ
豚
んぐゥ…ッ!?
ぐッ…
ひ…ッ!!
豚

そうだ♪静ちゃ～ん♪
お腹すいたかな？
ね？
コク
コク
よっしゃ
そう思って用意してたんだ♪
カサ
ジャ～ン
豪華・幕ノ内弁当（お味噌汁付）
フワァ
ココの弁当美味いんだよ～♪
ここに拉致ってから回輪外せなくて　たいした飯食わせてなかったからなあ
ぱか
きっとたまらんゾォ♪
オラ食え♪
くりゅうぅ
キュルルルゥ
あ…
ぱく
ごっくり
豚…おめーの豚餌は今作ってやるから
くる
『おすわり』して待ってろよ笑

よ～し♪
豚
ぐちゃ
ムワァ
『できた』ぞ♪
名付けて豚餌だ
プーン
え？
何これ？
臭ッ…
オラ食え
オラ口の枷外してやるよ
スルスル
いいか？豚になれ
身も心も豚になれば食えるぞ
豚になりきれ
もくもく
凛…ごめん助けられないよ…
腹減ってるんだろ？
キュルルクウウ
ゲウウ～キュ
う…
…お腹すいてる
豚
……
残飯や冷蔵庫の中の臭くて不味いモノたっぷりだ
手～使わず豚みたいに食え
残すなよ♪
ムワァ
豚

食えよ
ホラ
罰の方が食いたいか？
もわ
ひいッ!!
食べなきゃ…
食べなきゃ…ッ
また殴られるッ
プーン
無理ッ…!!
これ…食べたら
私は
自分が自分じゃなくなる
ムワ
あ？なんだ？
食えねえか？しょ～がねぇな
オラッ
!!
ガシッ
豚の気持ちで食え
う～ッ
臭いッ
不味いッ
自分をどんどん豚に変えていけッ
ほ
豚ッ…
ほら豚になってきたぞォ♪
そワ
オラッ
食えオラ
ムワ
豚になれば楽だぞ
オラッ♪
モ～
ぉ

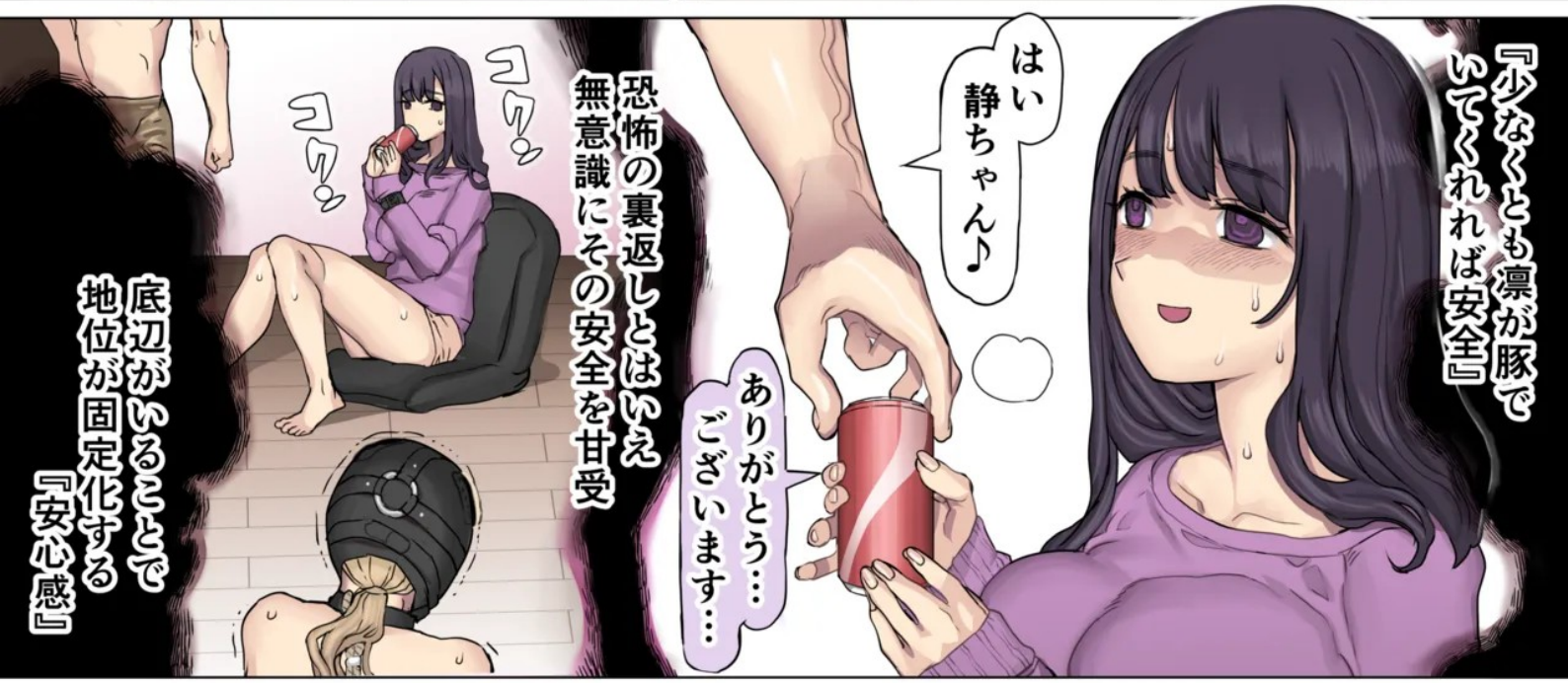
おらあッ!!
オラッ
ひぎィい〜ッ!!
ビクッ
ビクッ
カラ…
完食できたな
吐くなよ〜♪
吐いたらヤベ〜ぞ〜
ゴボッ
ゴボッ
ゴボッ

それから…
この生活が何日も続いた
豚に認定された凛は
徹底的に追い込まれていた

オイ見ろよ笑
豚がクソしてら

凛の性根を叩き直し
同時に静への戒めの
役割もある
徹底的に蹂躙した

しかし…
そんな凛を見て
静は恐怖と同時に
『安心』を感じていた



ん？なんだ？
はいしたいお話ひはいふぉふぉあ!!ことがッ
なんだよ？
スル
コレ…ッ顔の外して下さいッ!!
私の顔をッ…!!
眼を見て下さい!!
大事なお話なんですッ!!
ほう
カチャ
くだらない事だったら
ヒデぇーぞ
ズル
フワサ
今までッ…わるい子で…申し訳ありませんでした!!
先生の一番のお気に入りになれるように生まれ変わります!!
チャンスを下さいッ!!
凛にッ…先生に尽くさせて下さい!!
一度だけ…ッ!!
最上級媚びフェイス♪
ほお
…!!

いい心がけだ♪
よし…こっちへ来い
お前の『愛』を先生にぶつけてみなさい♪
はいッ!!
私 先生のためにいっぱいガンバります!!
先生好きですッ♪
私を…いっぱい使ってください♪
おッうお…♪
あのクソ生意気な凛が…本気のお尽くしたまンねえッ♪

おッ…
う〜〜ッ♪
凛…お前
フェラ…
うまい…なッ
ありがとう
あぃあぉぉ
おぁいあふぅッ♪
ございます
ぱへ
ぱへ
ぱへ
ぱへ
あ〜ッ♪
やべ♪
逆らい続けた女を
屈服させた快感が
ヤベ〜〜ッ♪
あ〜イイぞ
タマも舐めろ
円を描くように…
おぉお〜ッそうだぁ♪
おッ…
う〜〜♪
ふぁいッ♪
…容赦ないッ…本気の
金玉舐めだ…コレッ♪
よ〜し…
んふ？
本当に先生が好きか
テストだ♪
好きな人にする
キスで
『肛門舐めろ』
大事な人にする
本気のキスだぞ

好きな人にするキス…
肛門…舐める…
ぐーぐー
ムーッ
ヴぐーッ
静…アイツ
私が苦しんでる時に…
豚
私を見捨てて楽しやがって
成績良いくせに同じ学校なんかに来て
アヤトにもイイ子ぶって
本当は私を見下してるんだ
絶対あいつには負けたくない
あいつを豚に堕としてやる
はぁぁぁ
にちゅ
はぐ
にちゅ
にちゅ
はぐ
にちゅ
先生♪
好き
好きィ♪
凛のキス捧げます♪

お～いいぞ♪ クソ穴しゃぶりながらしごけよ

にちゅ

にちゅ

くちゅ

しこしこしこ

はぐ

はぐ

ふぁい♪（はい♪）

ふぁうぃあふ♪（しゃぶります♪）

肛門しゃぶりと手コキのリズム

一体化させろ

にちにち

ほぐほぐ

そうッ…

くちとオレの腸が繋がったみたいに

あ～ッ♪ そうだッ♪

無心ッ… 何も考えちゃダメッ

先生に気に入られることだけに集中して

先生のこと大好きだって思い込んでッ

いいぞッ♪

ぁあ～ッ♪

いく

いく

イク

いっへ♪（いって）

いっはい（いっぱい）

あひへ♪（だして）

いくッ
イクぞ
ピュ
ドクッ
ビュル
ビュル
ビュル
ぱぁ
はぁぁぁ
せんせ♪
ぱぁ
先生の精子
凛のだからね♪
凛ン～♪
ちゅるル
ズルル

今は
そう感じる
精子が美味しい
奉仕したのは私なのに
強い快感に襲われていた
先生を私の舌で
発射させた
喜んで貰えた
勝った
アイツを堕とせる
私の心に満ち溢れたのは
不快感ではなく
強烈な達成感だった

凛の奉仕の後…
静に今夜の奉仕をさせながらオレは考えていた
ちぽ
ちぽ
いや〜…
凛のヤツ…思いのほかイイ子だったなぁ♪

やっぱオレの教育が効いたんだなぁ♪
さすがオレ♪
ちぽ
ちぽ
しっかし…
それに比べて…
静のこのつまんねえ事務的なフェラよ…
にちゃ
『熱』がねえ
オラいくぞ
うッ
とくん
とくん
ビュルル

ぐう
ふぅ
わ

そして毎回コレだ…クソ
萎えるわ～…
ぺぺ
ぺぺ
おぇ
おぇ
しな
しな
こうなってくると
凛を再評価して
やらなきゃな
あの必死さが
今は愛おしいぞ
ぺぺ
静め…『人間』の地位を
当然と思いやがって…
ぺぺ
はぁ～
ここは一回
痛い目をみせて
一回ちゃんと理解らせて
やらね～とな…
え～それでは
今からの地位を
発表するぞ
今回は重大な発表が
あります
初めての
『地位』交換です
凛…
よく頑張りました
成長を認めます♪
一生懸命頑張ったね♪
偉いぞ～♪

先生ッ♪ ありがとうございます!! 嬉しいです!!
私これからも頑張ります!!
…というわけで静は降格〜〜
せっかく特権与えてやってんのに
オレへの奉仕を義務のように済ませやがって
え？
オラ服脱げよ豚
え？
え？
せんせ〜♪ 素敵♪
『豚』だオメーはよ
さっさと居場所凛に譲って豚の恰好しろ

そして…私たちの地位は逆転した―…

え…うそ

うそ…

嘘でしょ…？

豚

くぅ～～～ッ♪

最ッ高ぉ♪

のびーー♥

ざま～みろよ

え？

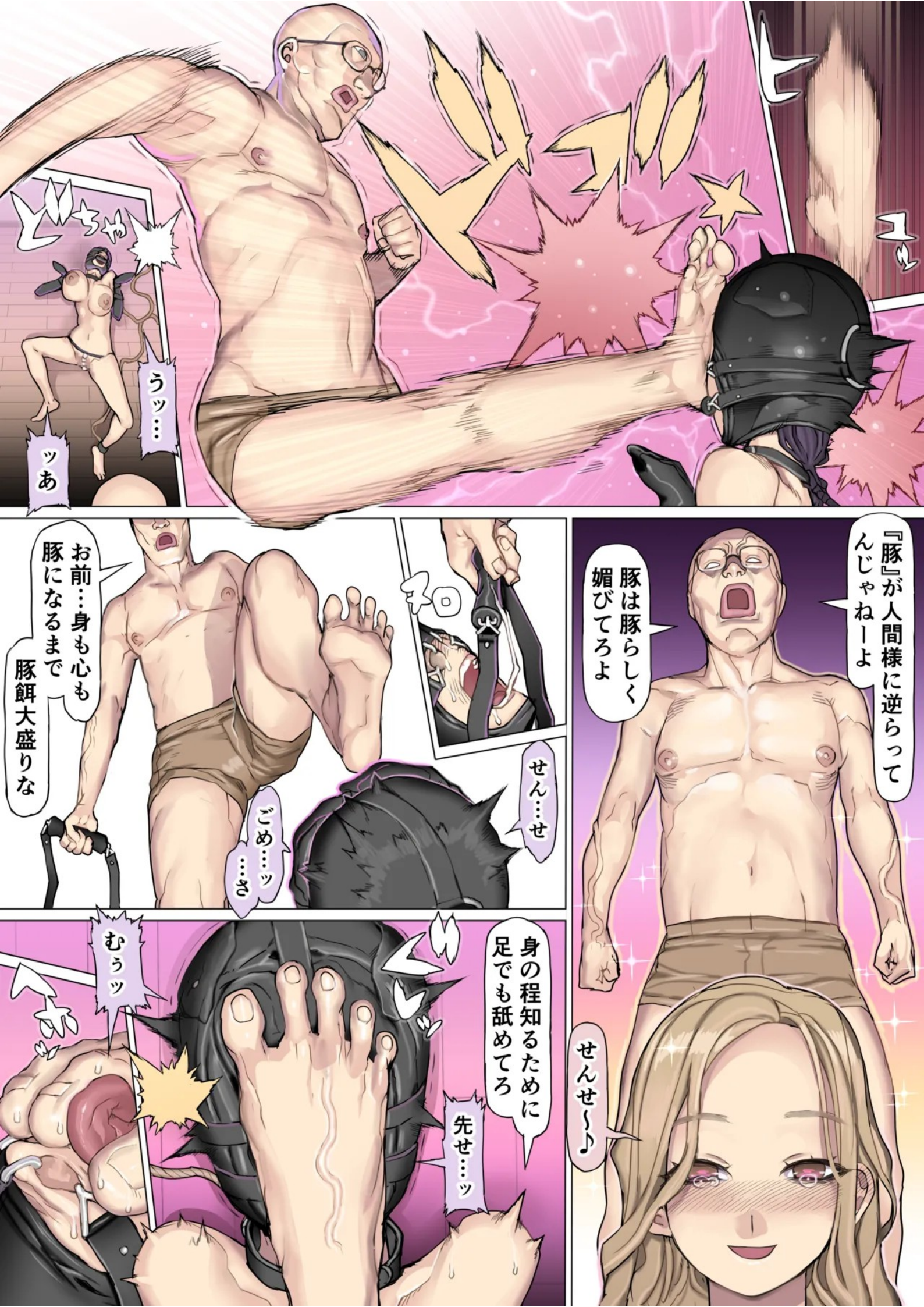
あんた調子に乗ってるから

そうなるのよ

凛…ちゃん？

あンえ…？（なんで…？）

なんでって言った？
あ？
なんでも何もここは奪いあいだし笑
私を下だって思ってるから『なんで？』って思うんでしょ
ふざけんじゃね～よ!!
・・・・!!
ほッ…あんぁ…（そんなんじゃ…）
ここに来る前だっていつも見下してたんだろ!?バカだって!!
私をなめてるのわかってんだよ!!
？
おうおうどうした？
凛ちゃん？
先生…!!
へッ…へぇ!?（先生）
コイツがッ私をなめてるんです!!
何ィ？
豚
へぅへぇッ…（先生ッ）
いあう…えうッ…!!（ちがうんですッ）


ドゴォ
どしゃ
うッ…
ッあ
『豚』が人間様に逆らってんじゃねーよ
豚は豚らしく媚びてろよ
せんせ～♪
ペロ
せん…せ
ごめ…ッ…さ
お前…身も心も豚になるまで豚餌大盛りな
身の程知るために足でも舐めてろ
先せ…ッ
むぅッ

ほら凛も来て足の指舐めさせなさい
ほら♪
え？
身分の差をわからせてやれ
遠慮するなコイツをゴミにしていいぞ♪
静に…コイツに足の指舐めさせる
ドキ
はぁ
はぁ
ドキ
優等生ぶってたコイツを私が…豚に変えてやる？
ほら…豚…舐めろ
ムラ
ムラ
ズクッ
ズクッ
うッ
う～ッ
レィッ
み
舐めろ
はぁ
はぁ
はぁ
舐めろよ豚!!
ホチョ
ペロ
ペロ
ペロ
は
は
ううッ

もっと私の足の指舐めろ
ほら!!
ほら♪コレ脱げ♪
あ
これヤバ
ヤバ
一緒にマ○コかき混ぜしてあげるから
豚の顔踏み潰せ♪
豚…踏み潰すッ…
豚ッ…
しゃぶれ豚ッ
オラ!!
オラ!!
心の中ぜんぶ豚にしてやる
そうだ♪思い知らせてあげなさい♪
ほら♪マ○コもっと掻いてやる♪

しね豚!!
豚!!
オラ!!
お
気持ちイイぃ〜マジ興〜奮する♪
お
にちにちにちにち
ぐちゅとちゅぶちゅ
にちゅかりかりくちゅかり
ズボッ
!!
お
おッおう
うッ!!お!!
豚
プシュッ
プシュッ
プシュッ
凛くんそこまでだ
もういいだろ
はぁ
はぁ
はぁ
はい…
ガロ…
う
あ

死んだり大ケガしたら面倒くせえからな
豚は生かさず殺さず…だ♪
ビクッ
ビクッ
どうだ凛くん『人間』はいいだろォ？
はい…♪
そうか…『豚』がいるから『人間』が特別なんだ
下の存在が『必要』なんだ
わかったか静…いや豚
先生は『イイ子』の味方だ
静を徹底的に豚に堕とし続けて身も心も豚にしてあげなきゃ
はぁ はぁ
はぁ
自分は豚だって思い込ませなきゃ
静は豚♪ 静は豚♪
ブタ
ぶたぁ♪
くちゅ ニュル
ズキッ ズキッ
ぐちゅ ヌチュ
ズキッ ズキッ
豚になるか
イイ子になって『人間』になるか
必死で奪いあいなさい♪
先生期待しているからな♪
……～

これを契機に―…
ふたりの『媚び競争』が
火蓋を切った

『人間』の地位を
奪い合う媚び

媚び

はぁ

はぁ

先生…♪
私を見捨てないで
くださいッ…♪

先生のおチ○チンは
私のですッ♪

初めて…
…だけど

…入れます
…ね♪

凛に勝つには
生で挿れる
しかない…ッ

媚び

ぶりぶり♥

ぶりぶり♥

豚

豚

豚

ぶりぶり♥

ぶりぶり♥

ぶりぶり♥

中ヤバ…ッ
全然…感触違うッ
う～～ッ
くら
くら
おッお～♪
あ～～ッ
静ァッ…
中に出すぞッ
イイぞッ
えッ
なかッ？
中に…生
～～ッ!!
凛に勝つんだッ
中にッ…
中に下さいッ!!
ぅぅぅぅ～～ッ!!
どくっ
びゅるっ
びゅるるっ
どくっ
あぁぁァ～～ッ!!
!!
!!
!!
!!
豚

男と少女たちの関係は犯人と被害者ではなく真の主従関係へと変化していった

凛君『宿題』やってきたか？

はいッ…♪

先生のためなら何でもします♪

教えたとおりにおねだりしろ

はいッ

先生♪

はぁ～

はぁ～

凛に

チャンスをくださってありがとうございます♪

よし見せろ

はい♪

クソ穴がんばって広げてきましたッ

クソ穴ご自由にお使いくださいッ

モコッ

ムワァ

おお～♪

いいぞぉ♪

抜くぞぉ♪

ポォ

ぐぽぉ♥

先生が私に与えて下さった道具でクソ穴大きくする練習いっぱいやりました♪

もうクソ穴かき混ぜてマ〇コイケます♪

穴の中もキレイに洗ってますのでどうぞお使い下さい♪

よ～し♪

クソ穴でチ〇ポ食えよぉ～♪

おぉお♪クソ穴ってこんな感じかあ♪

ンぉ～～ッ!!

ンあ～～ッ!!

ンンんおッ!!

いいぞ凛ン～♪

ありッ…がッとおおッ…

ございますうッ!!

どうだぁッ…!!
ンおオォおぉ〜〜ッ!!
クソ穴熱いですッ…ぎもぢぃイッ
こんなッ…スゴぉ
そうだろ そうだろぉ〜♪
はぁ はぁ はぁ
滅多突きでッ
クソ穴ぐちゃぐちゃにしてやるぞおッ♪
うがあぁ〜〜ッ めくッ…腸めぐれるッ
あ〜イイぞ
イクッ…!!
イクゾぉ 出るうッ!! 精子出すぞッ…!!
出るッ!! 出るッ…!!
うあぁあ〜〜ッ!!
ふたりによる『人間』の奪い合いは激しさを増していく

地位を得るために
自分の限界を超え
主人の好みに
変態行為で身を
染めていく

あぁあ～～ッ♪
先生のニオイ
最高ですぅ～ッ!!

あぁ～～ッ♪

オラ食えッ♪

餌食えよ豚ッ♪

そして勝者の…
加虐の快楽に耽る

さらにまた
地位を奪い返すために

クソ舐めながら
乳首しごけよ♪

自ら肛門を
しゃぶり

もうこんなモノ
いらねえなあ♪

ふぁいッ♪

はぁあッ…♪

おッ…♪

凛ン…
オマエが人間だ

はぃい～ッ♪

勝利の
豚踏みにじり

加虐と快感が混ざって
頭がおかしくなる

何度も何度も
毎日毎日

イクッ…

イキますぅッ!!

繰り返し
繰り返し

連日ー幾度もの
ご奉仕で
その舌と歯は
主の肛門舐めで
黄色に
汚れ穢れ
淫らな臭気を放ち

性器は連日連夜
かき混ぜられ
酷使され
快楽を貪るためだけの
器官になり下がった頃

その頃には…
かつて親友だった二人の
認識は歪められ
コイツは完全に敵
排除すべき邪魔者

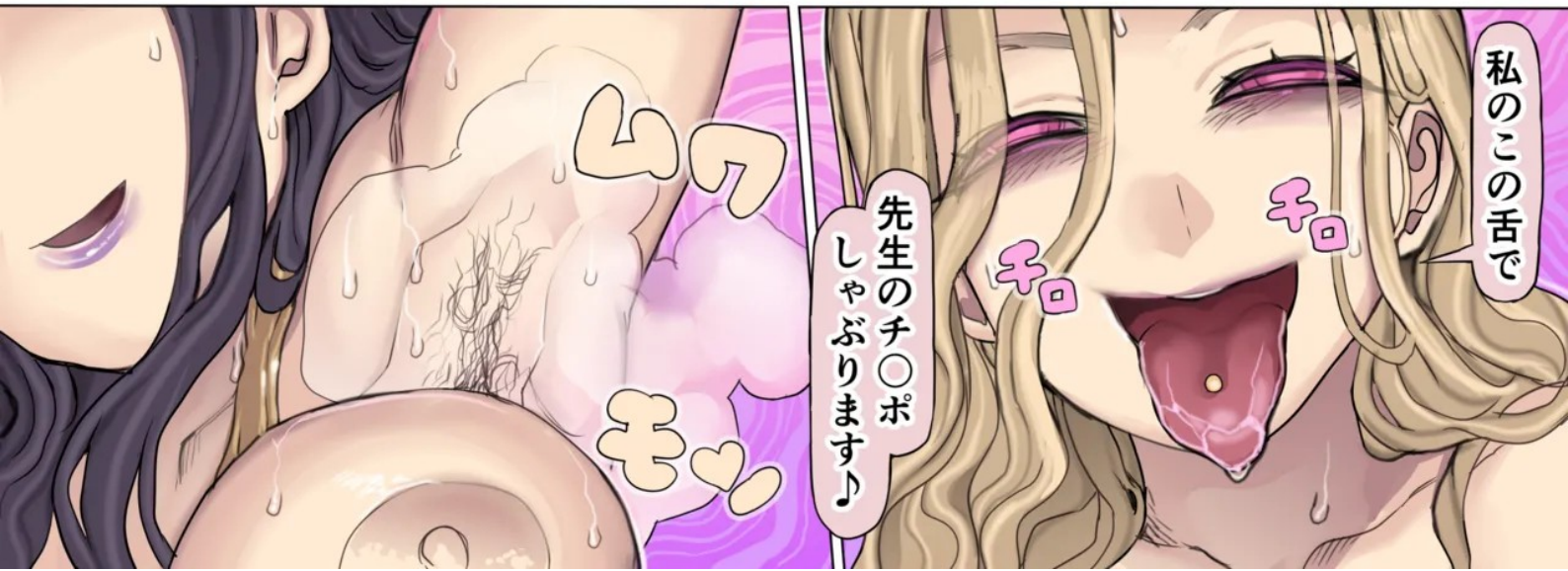
コイツを豚にして
自分こそ主の一番に
主に気に入られるため
なら何でもやってやる

もはや…
この男への嫌悪感や
被害者の意識など
消え去り
加虐心と忠誠心の
亡者と化していた

最近ふたりとも頑張っているね
もうどっちもイイ子だから
豚に決めるのが大変だよ笑
これはプレゼントだ
ゴ
パカ
いろいろなモノを入れてるから
好きに使って
先生が喜ぶ女になりなさい♪
敵を一生豚に堕として
逆らえないように
自分の力で自分の考えで
自分を『高め』なさい
徹底的に自分を改造しなさい♪
一生懸命頑張りなさい♪
月

ふたりともどうだ？
準備できたか？
はい♪
はい♪
私は先生が下さったHな本から先生のお好みに合うように
下品なマゾ奴隷になりました♪
さすが優等生だな良い情報分析力だ
ふたりともイイ子だね♪
はぁぁぁ
私は先生に気持ち良くなってもらえるように
先生のこと考えながらいっぱいピアスをつけました
舌ピアスでチ○ポしゃぶりします♪
うんうん♪
じゃあ実技試験するからおいで
はい♪
はい♪

先生♪せんせ♪
静を使ってください♪
先生専用のマゾです♪
先生♪凛のカラダ見て♪
ぺロ
ぺロ
ヌリ
ヌリュ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
チュッ
チュッ
くちゅ
にちゅ
くちゅ
ヌリュ
ヌリュ



汗で蒸れ蒸れです～♪
はぁぁぁ
わたしのワキ食べて下さい♪
ムワァァァ
あ～～～♪
臭せッ♪
はへぇ
はへぇ
くはぁ
はへェェ
ンッ
もッ
ごッ
はへぇ
うぉ～～～ッ♪
イイぞォ♪
くりほッ
くりほッ
くりほッ
ほォォォ♪

ズルいッ
ぱぺッ
ちゅ
ちゅ
へんへぇッ♪
はへェ
はへッ
私のよッ
コラコラ笑
ちょっと待ちなさい笑
ふたりの気持ちは嬉しいが
オレのチ○ポは一本しかねえ
先生ッ♪
先生ッ!!
わたしッ!!
私にッ!!
私に来てくださいッ♪
私クソ穴も使えます!!
よ～し…♪
ここまでよく仕上がったな♪

ここで普通にハメても
つまらんなぁ…
どうすれば…
どうすればもう一つ
最後に…もう一つ
どうすればダメ押しの
破壊的興奮
脳内快感物質の
超爆発を与えて
やれるかな…
競争の…
闘争の極致…
そうだ…
オレのことを
力で奪い合え
殴り合いで倒せ
ちからで…
……
殴り合い…
ガバッ
アンタみたいな
馬鹿に先生を
満足させられる
ワケないでしょ!!
消えてよッ!!
ガッ
ゴッ
ゴッ
ゴッ
はあ?
先生はギャルの
私とハメたいんだよ!!
オメー
ムカつくんだよ!!
おとなしく豚に
なってろよ!!

いだッ…クソッ
ブチ
ブチ
放ッ…
イラッ
この…ッ
豚ァ
ッ!!
直接暴力!!
野生むき出しの本能
パパッ
くッ…
ゴッ
ズ
ぐうぅッ…
フラ
はぁ
はぁ
ぐぐ
ら～!!
カ
ドロ

何ッ…
すんのよッ!!
ドン
えッ
ブラ
トトト
ズル
あ…
すべッ…
ドタ
ぐッ…
う…
くらくら
や…め…
頭打って…ッ
は
は
は
ぐ
ぐ…

ゴッ
しねッ
死ねッ
ゴッ
うッあ
ゴッ
しねぇッ
やめッ
暴力で蹂躙
憎い競争相手を
一方的に殴り潰す
ああ〜〜〜ッ♪
ヤバ♪ やばあ♪
ドローン
死ねえッ
快感が噴き上げる
勝利の興奮
勝った!!
超快感
きもちィイぃい♪
ズメ
ズリ
トロォ
よ〜し
そこまでだ♪
ボロッ
かへッ…
ショロロ…
オマエの勝ちだ
静♪

さすが優秀だな
はぁ
はぁ
邪魔者をボコボコにして勝者となったな
偉いぞ♪
オマエはココで最高の女になった
はいッ…ハイィい〜〜ッ♪
やべ〜顔笑
トロ〜ン
はぁ
はぁ
初めて暴力で敵をぶっ潰して
興奮で脳汁出まくってるんだね♪
う
お
お
今ハメたら…『効く』ぞぉ〜♪
せんせぇ…♪

なぁ笑
オラッ♪
感度最狂だろ？
やべ～だろ笑
おらぁッ笑
ブリ
ブリ
ぱん
ぱん
ぱん
ぱん
うぁぁぁ～ッ♪
あぁぁ～ッ!!
ブリ
ブリ
ブリ
ブリ
うわぁぁぁぁッ!!
ぶぶ
ぶぶ
ブリ
ブリ
絶叫
ポヒュ
コヒュー
コヒュー
こんな快感
与えてくれるの
オレだけだぞ～♪
そ～ら
そらそらぁ♪
ぱん
ぱん
ぱん
ぱん
ぱん
ぱん
ぁぁ♥
ぁぁ♥
このチ○ポ様
絶対忘れるなよ～♪
ブピ

最ッ高ぉだろォ？頭おかしくなるだろ
これからも何度も何度も勝って気持ち良くなりまくろうぜ
オラ来い
オラ見ろ
オマエの特権を邪魔したゴミを
これからもずっと叩き潰してやれ
徹底的にいじめて
豚にしてやれ
ここでは暴力もいじめも許されるぞ♪

こんな風にッ
暴力的にッ
破壊的にッ
蹂躙してやれッ
先生ッ…すごいですッ♪
先生ッ…!! 気持ちッ…
スゴ
すごお
ッ…
気持ち良過ぎるッ!!
脳ミソおッ
焼けるぅ〜ッ…!!
先生ッ 私…ッ理解(わか)りましたッ
全部ッ…
全部ッ…先生が
正しかった…ッ!!
豚
人間
神
全部
私たちをッ…幸せに
するためにッ…
おッ
先生スゴイッ
先生かっこいいッ

痛感する 先生の偉大さ 先生の女で 畏ろしさ いられる幸福感

私は先生の女ッ

うッ

イクぞッ…

精子イクぞッ

おッ

先生きてッ

ぞく

ぞく

ぞく

きてぇッ♪

おぉおあ〜ッ

オラッ…豚ッ 見ろッ…

私が先生の女だッ

ドピュ

ドピュ

ドピュ

静に先生の子ども 産ませてえッ…♪

おッ

私を見ろッ…♪

どくッ♥

…!!

んおぉぉ～ッ♪
来たッ…
キタ
先生の精子ッ!!
ビュルルル…
嬉しいッ…!!
嬉しい
あ～～ッ
私終わる
興奮ヤバイ
快感ヤバイ
終わっちゃう
いくるぅ
終わる
んおあぁあ～ッ!!

ヤベッ… 頭狂うッ…!!
ぞくッ
イクッ…
イぐぅうッ!!
ぞくッ
ぞくッ
はへ
はへ
はへ
ぞくッ
ぞくッ
せんせイッ…
センッ…せ!!
愛じでッ!!
ますうッ…!!
全身鳥肌
あぁへぇ～…
もうだめ…ッ…私
戻れない…ッ
戻りたくない
この地位
手放したくない

それから―…

であるから この問題は…

じゃ… 次のページ

へェ～ ウケる笑

そういえば 凛と静ってさ

まだ見つかって ないってマジ？

家出でしょ？

アヤトたちの ヤリグループ

マジ警察で 取り調べ受けた らしいよ

はい…では 終わります

コイツらホント 全然授業聴いて ねえなあ

クズガキはほんと サルと一緒だな

まあいい… さっさと帰ろう

あの二人が家で オレを待ってるんだ♪

今日はどうして やろうかな♪

さ〜て…♪
今日もたっぷり
調教してやりますか♪
フンふ〜ん♪
ガチャ
ソロォ
高宮さん…ですね？
ポン
警察です
ちょっとよろしいですか？
警察…ッ!?
ドキ
ドキ
ドキ
嘘？
見つかった!?
逮捕!?
あッ…
ビッ
コラッ…!!
逃げたぞッ…
抑えろッ!!
取り押さえろッ!!
ガッ
逃がすなッ
オラ待てッ!!
そっち頼むッ…
オラ!!
オーシ!!
被疑者確保ッ…!!
確保ォッ!!

えー こちら待機班 マル被確保
ガチャ
先生 おかえり なさいませ
室内の様子は どうか
さわ…
行方捜査中の 2名発見!!
あれぇ? 先…生じゃ ない?
トロォ♡
なんだ こりゃオイ!!
先生 どこぉ?
せんせぇ~♪ はやくマ○コ穴 いじめてぇ~♪
ぽわぁ♡
せんせぇ~ 好きィ~♪
オーイ!! すぐ布持ってきて!!
オイオイ やばいってコレ…
被害者保護ッ!!
うわッ…臭ッせ!!
ムォワ♡
ムワァ♡
終